

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)	良く なっている	スーパー（店 長）	来客数の動き	・3か月前は消費税増税の影響から低迷していたが、今は回復してきている。ただし、天候不順もあって、期待通りの回復ではない。
		通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・販売量はほぼ計画通り推移している。解約や顧客の流出も減少傾向にあり、契約数の増加がみられる。
	やや良く なっている	商店街（代表 者）	来客数の動き	・来街者数は雇用の有無で大きく左右される。雇効果効果が薄れていた状況から確実に効果が現れる状況に変化してきた。人も物も「動かない」から「動く」へと変化している。
		商店街（代表 者）	お客様の様子	・消費税増税によって鈍っていた顧客動向が、少し上向いているように感じられる。
		百貨店（販売促 進担当）	販売量の動き	・売上は消費税増税直後の4月と比較すると改善傾向にある。ただし、7月は消費税増税の影響から完全回復を見込んでいたが、売上は計画を下回った。前半は堅調に推移したが、中盤の雨天・台風がダイリー商材のマイナスに影響。また美術・呉服など高額品も不振が続く、主力の衣料品はセールを強化するも回復が遅れている。
		コンビニ（店 長）	来客数の動き	・来店客数が増加しており、特に通勤時間帯の来店が増えている。
		コンビニ（総 務）	来客数の動き	・天候や気温に大きく左右されるが、梅雨明け後の気温の上昇とともに来客数が増加している。
		旅行代理店（支 店長）	お客様の様子	・消費税増税の影響で旅行の申込が減少していたが、6月、7月と申込状況は前年並みに回復してきている。
		通信会社（企 画）	お客様の様子	・3か月前より、客の反応がよくなっていると思われる。オプションチャンネルの引き合いも増えている。
		競艇場（職員）	販売量の動き	・7月は、SGレースが開催され、前月比50%増、3か月前比22%増、前年比4%増となった。本場開催で大勢の客が来場し、売上目標も達成した。ただ、SGレース開催による売上増であり、景気が本当に良くなっているとはまだいえない。
		美容室（経営 者）	来客数の動き	・暑さの影響なのか、来客数が多い。
		設計事務所（所 長）	お客様の様子	・建物の改修等を始める方が増えてきている。
	変わらない	一般小売店〔生 花〕（経営者）	来客数の動き	・来客数にはあまり変動はない。お盆の御供え商品の注文と、夜市などで人出があるが、その他の商品の売行きが悪いので、良いとは言えない。
		一般小売店 〔酒〕（販売担 当）	お客様の様子	・お中元が送料無料の大手スーパーやディスカウントチェーン店に小売店は太刀打ちできず、年々、進物は減少傾向にある。
		百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・お中元のお届け先件数の減少、来客の減少が目立ってきている。
		スーパー（財務 担当）	来客数の動き	・猛暑効果があった昨年に比べ、通常の暑さの今年は暑さ効果が少ない。
		スーパー（統括 担当）	お客様の様子	・消費税増税以来、少しぜいたくな物、少し高い物が売れ始めているが、全体としては売上が増えているわけではない。
		衣料品専門店 （総務担当）	販売量の動き	・売上は前年を維持しているが、客単価が下落しており、単品買いが目立っている。前年並を維持できたのは、6月に大きく落ちた売上がスライドしたものであり、全体としては依然として厳しい状況にある。
		乗用車販売店 （従業員）	お客様の様子	・消費税増税の影響は、まだまだ続いている。販売量は、前年に届かず苦戦している。お客様は車の買換えに積極的ではない。
乗用車販売店 （営業担当）		販売量の動き	・4～6月は徐々に上向いているように思えたが、7月に入り停滞している。新車・中古車共に土曜、日曜日の車両（買い回り客）での来店数が激減している。	
その他小売 〔ショッピング センター〕（副 支配人）		お客様の様子	・セールになっても買い急がず、必要な時に買う姿勢が一段と強く感じられる。	
その他飲食 〔ファストフ ード〕（経営者）		来客数の動き	・中国・上海の食品会社で使用期限切れの鶏肉が使われていた問題が発覚した後、当社が運営している店の鶏肉商品の販売量が激減している。風評被害が顕著になっている。	
観光型旅館（経 営者）		来客数の動き	・3か月前と比較して大きな変化はない。	

	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・昨年と客足は変わらない。	
	美容室（経営者）	単価の動き	・来客数は変わらないが、客単価が低く抑えられている。	
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・イベントでの来客数が伸びない。	
やや悪くなっている	商店街（事務局長）	来客数の動き	・3月末で地元百貨店が閉店したことから、需要が近隣に分散し底上げ効果もあったが、今ではその効果も薄まっている。電気代、ガソリン代の高騰が生活費を圧迫しており、人通りが多い割には売れ行きが悪い。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・夏物バーゲンの出足が非常に悪い。梅雨が明けて、大変暑い日が続いていることもあるが、来街客は平日だけでなく、休日も非常に悪い。	
	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・消費税増税後の買い控えは6月に一段落したとみられたが、燃料価格や食品の値上げが始まり、再度買い控えが始まっている。	
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・7月中旬より来店客数、売上ともに前年比で減少に転じた。夕方と夜間の来店客の減少が主な要因とみている。	
	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・バーゲン月に入る7月に、相当大きな期待をかけていたが、天候不順でもないのに不振で厳しい状況が続いている。	
	家電量販店（店員）	販売量の動き	・例年、ボーナス商戦で休日は会計待ちの時間が長いですが、今年は待ち時間も短い。4月以降、販売量は低迷が続いている。	
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車販売は3か月前から消費税増税の反動で受注減となっているが、今月も厳しく、今後もしばらくはこの状況が続くとみている。	
	乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・7月に入っても新車受注は減少したままである。他社の新車効果も思ったほど伸びていないようだ。8月に向けて、新車販売は長期休暇もあり下降気味になる。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・夏場はお遍路の仕事が春に比べて減るため、売上自体も落ちている。	
悪くなっている	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	競争相手の様子	・県内の書店全体で、商品の入荷量が減っている。	
企業動向関連 (四国)	良くなっている	—	—	
	やや良くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・景気はほんの少し良くなったような感じを受ける。消費税増税の反動減はなくなってきているようにみえる。
		鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・主力である造船関連の受注販売は変わらないが、産業用機械、建設関連の受注がスポット的にきている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・先月より受注量はやや多くなっている。
		通信業（部長）	受注量や販売量の動き	・料金プランの改定もあり、昨年度と比較し受注量が増加傾向にあり、今後もしばらくはこの状況は続くと思われる。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	取引先の様子	・当社取引先（スーパー、外食）の売上状況は変わらない様子。
		繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月以降、小売店の店頭での購買意欲に力強さが感じられない。特に、店頭での展開にマンネリ化が感じられる小売店の廃業が目立ち始めた。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・国内受注は堅調で、ユーザーの稼働状況も高い。ただし、海外受注は地域差があり、不透明感がある。
		建設会社（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注件数、受注残高とも横ばいで、売上高は減少している。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・昨年度からの繰越業務が順調に完工して行く中、今年度の業務もほぼ順調に受注できてきている。自治体発注の出遅れを国からの受注がカバーしており、全体的に受注環境は悪くない。
建設業（経営者）		受注価格や販売価格の動き	・公共工事のなかには、設計金額が低すぎて入札に参加できない事例もある。	
輸送業（経営者）		取引先の様子	・取引先の状況に変化がない。	
金融業（副支店長）		取引先の様子	・原材料や燃料費の値上がり等を考えると、利益がまだ出していない状況にある。	
公認会計士		取引先の様子	・顧問先の月次の試算表、決算書等を分析すると、前年とほとんど変わりがなく、いまだに赤字法人も多い。	

	やや悪くなっている	電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	・国内市場向けの受注は微増傾向にあるが、海外市場向けの受注がそれを上回って減少している。
		輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・一般商業貨物の荷動きは、先月に続いて悪く、発送到着貨物ともに取扱物量が前年比15%程度低下している。県産園芸品（青果物）は、生産高も順調に伸び、出荷量も前年比10%程度向上きで推移した。トータルでは前年売上をやや下回る程度を確保することができた。ただし、燃料油高騰の影響は大きく、経営は減益傾向にあり、経営の安定化を図る為には運賃値上げを強硬に推し進める必要に迫られている。
		輸送業（支店長）	取引先の様子	・毎年この時期に多く集まる特定貨物の荷動きがない。
	悪くなっている	—	—	—
雇用 関連 (四国)	良くなっている	—	—	—
	やや良くなっている	人材派遣会社（営業）	求人数の動き	・今年度に入ってから、求人数が増加している。派遣でみると事務系求人または営業系の求人は増加傾向にあるが、派遣スタッフ確保に苦慮している。慢性的な人材不足がしばらく続く。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求職者数は減少を続けているが、就職者数は増加している。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・求人増の案件が一部の業種に留まっており、全体への景気回復波及の様相がみえない。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・企業の採用意欲は高くなっている。求人も前年同月比より上昇している。
		職業安定所（職員）	それ以外	・6月の月間有効求人倍率は1.03倍で、3か月前と同数となった。
		民間職業紹介機関（所長）	雇用形態の様子	・採用については、試用期間を6か月、または契約社員で採用するといった採用形態が増えており、正社員の採用には非常に慎重になっている。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・工場関係の仕事が減っている。
		求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・県内の製造業においては、受注増等で忙しくしているが、人手不足による疲弊が感じられる。春先から求人を出し続けているが、採用に至らず苦戦している企業が多い。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・消費税増税の影響が尾を引いている。とくに住宅、不動産の広告活動が激減している。
	悪くなっている	—	—	—